

自治体職員等を対象とした公開用eラーニングに関する検討

- 自治体職員等を対象とした公開用eラーニング(以降、「公開用eラーニング」)の検討にあたり、現在実施しているeラーニング「事前学習」と公開用eラーニングの概要や機能等を比較し仕様イメージ(案)を整理した。
※ 詳細は次ページ参照。
- 整理結果をふまえ、今後、公開用eラーニングの設計開発を進めるうえでの主な論点として次の4つが挙げられる。

論点① 実施の目的（前提、対象者、学習目的）

- 有明の丘研修・地域研修に参加できない自治体等への災害対応能力向上機会の提供 等、何を前提とするのか。
- 人口10万人未満の市区町村、防災に関わる職員、担当レベルの職員、新任の職員 等、どの範囲の誰を対象者とするのか。
- 前提および対象者を踏まえ、何を身につけることを目的とするのか。

論点② 受講管理

- 受講者の情報、学習の進捗状況等の受講者管理は必要か。
- 管理を必要とする場合、受講者のメールアドレスやテストの点数 等、何の情報を管理し、何に活用するのか。

論点③ コンテンツ

- コンテンツとして、パワーポイントのスライド形式、有明の丘研修の講義の様子等の動画配信、テストの実施など、効果的なコンテンツ・見せ方は何か。

論点④ 運営・管理主体

- 論点①～③の検討結果を踏まえると、誰がどのように運営・管理をするとよいか。

(1) eラーニングの概要

下線:eラーニング「事前学習」と異なる箇所

区分		eラーニング「事前学習」	今後検討していく公開用eラーニングの仕様イメージ(案)	
実施の目的	前提	・有明の丘研修の受講予定者向けに研修受講にあたっての「事前学習」を実施	・ <u>有明の丘研修・地域研修に参加できない自治体等の防災に関わる担当職員への災害対応能力向上機会の提供</u>	論点①
	対象者	・有明の丘研修の下記6コースの受講予定者 ①防災基礎／②災害への備え／③警報避難／④応急活動・資源管理／⑤被災者支援／⑥復旧・復興	・都道府県・市区町村の <u>防災に関わる担当職員</u>	論点①
	学習目的	各コースに関する次のことについて学ぶ ・何について学ぶのかを知る ・何が分からないのかを知る ・受講に必要な最低限の知識を身につける	・ <u>防災に関わる者として、防災活動に取り組む上で当然知っておくべき「活動の前提（枠組み、基礎知識）」と、防災活動を遂行するために個人が有しておくべき「活動遂行能力」として必要かつ基本的な知識・技能を身につけることを目的とする</u>	論点①
時期等	実施時期	・年2回実施	・ <u>常時実施</u>	
	受講期間	・各コース受講日の1ヶ月前～受講日の18時に限定	・ <u>受講期限なし</u>	
構成	受講コース	・共通コースおよび受講する有明の丘研修のコース	・ <u>災害対応基本コース</u>	
	コンテンツ	・テキストの閲覧（任意）、テストの実施（必須）	・テキストの閲覧（任意）、テストの実施（ <u>任意</u> ）	論点③
	コンテンツの内容	・防災全般に関する基礎的な事項 ・各コースに関する必要最低限の知識 ※受講内容は、研修指導要領に基づき作成されているテキストに示されている	・ <u>過去の災害事例など、災害対応を行う上で必要不可欠な基礎的な事項</u> ・ <u>災害対応をする上で必要最低限の知識と技能</u>	
	修了条件	・テキスト内容の理解度をはかるためのテストで、全問中80%以上正解することで合格（＝修了）とする	・テキスト内容の理解度をはかるためのテストで一定の成績をとることで合格（＝修了）とする	

(2) eラーニングの機能

下線:eラーニング「事前学習」と異なる箇所

区分		eラーニング「事前学習」	今後検討していく公開用eラーニングの仕様イメージ(案)	
管理機能	受講管理	- 受講者の氏名、受講者番号の受講者情報を管理 - テキストの閲覧状況、テストの成績等の学習の進捗状況を管理	<u>受講管理はしない</u>	論点②
	コンテンツ機能	- テキスト - テスト	- テキスト - テスト	論点③
その他機能	アンケート	学習内容の難易度、理解度、その他改善点等をアンケートで確認	<u>アンケートは実施しない</u>	論点③
	コミュニティ機能 ※	使用しない	使用しない	
	その他	- パソコン、タブレット、スマートフォンに対応 - 操作方法等の問合せを受け付ける	- パソコン、タブレット、スマートフォンに対応 - 操作方法等の問合せを受け付け、<u>FAQを掲載する</u>	

※コミュニティ機能:チャット、掲示板、ディスカッション機能など

(3) 運営・管理

下線:eラーニング「事前学習」と異なる箇所

区分		eラーニング「事前学習」	今後検討していく公開用eラーニングの仕様イメージ(案)
主体	運営・管理主体	・システムの運用管理、コンテンツの管理とも内閣府	※仕様イメージ決定後、比較検討を行う。
環境	ハードウェア	・クラウド利用のため、専用サーバの設置は不要	・クラウド利用のため、専用サーバの設置は不要
	ソフトウェア	・ベンダー提供のLMSを導入のため、ソフトウェアの開発は不要	・ベンダー提供のLMSを導入のため、ソフトウェアの開発は不要
コスト	システム開発費用	・ソフトウェアの開発不要のため、費用無し	・ソフトウェアの開発不要のため、費用無し
	コンテンツ開発費用	・昨年度作成したコンテンツの一部改善でよいため、費用軽微	※仕様イメージ決定後、比較検討を行う。
	初期費用	・無し	
	維持費	・年間：792,000円 <内訳> ・月の基本料金：21,000円×12ヶ月 = 252,000 ・受講期間中料金：受講者約360人×250円/人月×3ヶ月×2期 = 540,000	

論点④